



「図書館への憧れ」

図書館長 成田 淳一郎

私は自慢できるほどの読書家ではありませんが、本ないし図書館への憧れだけは人一倍持っていると思っています。実現はしていませんが、若い頃には、自宅に壁一面の書架を設えたいと思ったものでした。趣味のSF小説を数多く揃えて、一度読んだ本も、ストーリーや情景を反芻したくなったらいつでも手に取れるように残しておきたいと思ったのがきっかけです。徐々に理系の一般向け解説書なども読むようになりました。先行きの不安にかられた時には、心の病に関する本を手当たり次第に読んでいたこともあります。自分の悩みが相対化されて、少しは余裕が生まれたように思います。身の程知らずにも、人類の知識を全て手元に置きたいなどと妄想するようになりました。インターネット上では見上げるほどの書架やそのような書架を備えた世界の図書館の写真やイラストも散見されますので、私以上に本への想いの強い方も多くおられるのだと思います。

本の話の筈がいつの間にかインターネットに頼ってしまっていますが、取りあえず調べて見当をつけるのにインターネットに頼るのは私も否めません。しかしインターネットのない時代、知識の供給源として本は唯一無二の存在でした。現在はどうでしょうか。私の本への憧れは続いています。取りあえず見当をつけた次の段階ではぜひとも一冊ないし時には数冊の本で知識の体系を得たいと思います。

インターネットからの情報の多くは知識の断片です。知識の断片を自力で組み合わせて体系を築くのは大仕事です。私の趣味の囲碁の世界ではAIが人間の棋譜に頼らずに人間の名人を超えたというのは、もう数年前の話です。随分驚きました。膨大な試行錯誤から見事に名人に負けられない囲碁体系を作り出したものだと思います。人間も負けずに、ここぞと言うときには挑戦してもよいかもしれません。なんとと言っても人まねばかりではつまらないですし……。

しかし、いつでもというわけにはいきません。学習段階では先人の知恵に頼るのが普通は得策です。その時、同じ分野の複数の本をほぼ同時に読むと、本による枠組みの違いや、ちょっとしたズレでも、それがきっかけとなって自分で考えるようになり、自然と理解が深まるのでお勧めです。時には新しい発見があるかもしれません。



大同大学の図書館は開架式で、分類番号に従って同じ分野の本が近くに集められていますので、自分に合った、よさそうな本を探すのに向いています。こういうときのスピード感はなんとと言ってもインターネットではなく図書館です。インターネット空間では、動画広告が増えるにつれて検索の能率は以前より落ちてきた感じがしています。これは無料のサービスに頼っているからかもしれませんが、図書館の利用も基本的には無料です。また図書館の3次元物理空間の中で本を探すと、分野間のバランスや、周辺分野とのつながりも自然に分かります。

最新情報だけはインターネットに軍配が上がりそうです。しかし、私が受け持っているFYSの授業で「これからの社会を変える技術」という統一テーマでレポートを書いてもらったときには、学生の皆さんの引用した参考文献で、最新技術と思っていたものが意外と古くから研究されている場合もあることを知りました。このような場合にも、図書館での文献調査が欠かせないと再認識させられました。

最近もう一つ憧れていることがあります。所有する物を極力減らして、国内外を移り住む生活です。持っている本をどうするかが悩ましいですが、世界中の図書館を見て回るのは楽しそうです。

図書館学生利用者アンケート実施と結果

本学学生の顕在的・潜在的なニーズ、読書力、行動パターンを知り、学生が図書館での購入を希望している本を把握し、今後購入する図書や蔵書構成に反映させることを目的に下記の通りアンケートを実施しました。

期 間：2021年6月30日（水）～8月31日（火）
方 法：教務ポータルサイトでの回答
通 知：教務ポータルサイト、図書館ホームページ
回答数：118名

このアンケートから得た情報を今後の図書館サービスに反映させ、利用者ニーズに合った改善を行い図書館の利用が活発になるように取り組んでいきます。

1階ブラウジングコーナーの新聞棚付近にアンケートの全回答をプリントアウトしたファイルを置きましたのでご覧ください。

アンケートでリクエストがあった本は新規購入分、既存所蔵分を集め9月～11月まで新着図書コーナー横に配架しました。活発な貸出利用がありました。

ダイジェストブックのデジタルライブラリー

(SERENDIP) 開始 (2021年8月31日より)

図書館で「SERENDIPデジタルライブラリー」という新しいサービスが始まりました。

話題の本、ベストセラーなど広い分野からの厳選された名著・良書をA4で3枚にまとめたダイジェストがおよそ2000冊分、Webサイト上に掲載されます。

図書館ホームページの「電子資料（学内限定）」よりご利用いただけます。

(学内限定、教職員・学生限定)

(URL : <https://ep.serendip-service.com>)

閲覧・ダウンロード・プリントアウトが可能で、週に4冊（年間約200冊）の新しいダイジェストが掲載され続けます。このライブラリーを利用することで読書に関心を持つきっかけとなり、広い分野の良書に出会うことができるかもしれません。

なお、「SERENDIP」(書籍情報DB)の案内は図書館1階ブラウジングコーナーでも紹介していますのでご覧ください。



図書館オリエンテーション実施報告

2021年度の新入生に対しての図書館オリエンテーションを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、8回で打ち切りとなりました。図書館ホームページの「新入生オリエンテーション」に当日の説明と同じPDFを掲載しています。会場での参加ができなかった方も図書館の活用方法を知ることができます。

期 間：4月16日（金）～4月21日（水）
(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、22日以降中止)
内 容：全体説明（25分）：図書館の概要説明
全体説明終了後、各自で自由に施設見学
自由見学する施設を紹介
(1F参考図書閲覧室 等)

新型コロナウイルス感染症

拡大防止対策の継続

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、2020年4月より様々な対策を実施していますが、感染終息が見通せない状況の為、2022年度も当面の間継続します。ご理解とご協力をお願いします。

① ソーシャルディスタンスの確保。

閲覧席に仕切り板を施し、椅子を1つ置きにしています。ソーシャルディスタンスを確保して下さい。

② データベースのリモートアクセスを継続します。

図書館で契約している下記の電子ブック・データベースは、2022年度も自宅等の学外からも接続できます。(学生・教職員限定)

利用には、各データベース毎にユーザーID、パスワードが必要です。詳しい接続方法は、大学のポータルサイトをご覧ください。

- ・電子ブック (Maruzen eBook Library)
- ・日本建築学会論文等検索システム
- ・J-DreamIII (科学技術文献情報データベース)

③ 図書の郵送貸出サービスを継続します。

学生を対象に、図書の郵送貸出サービスを行っています。希望される方は、予めOPAC(図書館の所蔵資料検索)で所蔵を確認し、下記の図書館メールアドレス宛に、タイトルを「図書貸出希望」として、次の必要事項を記入して送信して下さい。

- ・申込宛先 library@daido-it.ac.jp
- ・学籍番号
- ・氏名
- ・郵送希望先の郵便番号と住所
(大学に登録してある住所に限ります。)
- ・電話番号
- ・貸出を希望する図書の書名、著者名、資料ID

④ 図書館のイベント開催が現在未定です。

現時点では安全を第一に考え2022年度のイベント開催は

未定です。決定次第、ホームページや掲示にてお知らせします。

このほか、接触回避のため、出入口ドアをできる限り開放し、各所に消毒用アルコールを設置して除菌に努めています。

利用者には、館内で使用した資料を書架へ戻さず返却台に置いてもらい、スタッフが除菌をしてから配架しています。

また、学外の方（一般社会人・他大学学生・高校生）の利用を休止するなど、学生の皆さんが安心して図書館を利用できるように取り組んでいます。

購入希望図書のご案内

利用したいと思った本が本学図書館に所蔵されていない場合は、購入をリクエストすることができます。申込方法は下の2通りあります。

申込方法

① マイライブラリから申し込む

- ① 図書館ホームページの「マイライブラリ」にログインします。
(マイライブラリの使い方は、ログイン下のヘルプもしくは図書館ミニガイドをご覧ください。)
- ② 「各種申し込み」の「図書の購入希望」をクリック、必要事項を入力し、申し込んで下さい。

② 用紙で申し込む

- ① 図書館1階エントランスホールの記帳台に「資料購入希望申込書」があります。
- ② 申込書に必要な事項を記入し、1階サービスカウンターへお持ち下さい。
※ 予め希望する図書が図書館に所蔵されていないことをOPACで確認して下さい。
※ 選定基準等によって購入不可の場合もあります。
※ 購入に関する連絡は、基本的に申込時に記入して頂く宛先へメールにて連絡します。

新着雑誌配架場所変更

これまで3階に配架されていた利用の多い和雑誌の内15誌を、気軽に立ち寄れる1階出入り口のすぐ近く（ブラウジングコーナー）に移しました。

3階新着雑誌閲覧室に閲覧机、椅子設置



新着雑誌を閲覧しながらの学習に利用できるように閲覧机を設置しました。雑誌を参照しての学習にお役立て下さい。



関口文庫について

故・関口春次郎名誉教授より1978年に寄贈を受けた図書、雑誌等を整備し、貴重な資料を3F書庫にまとめて配架する場所を設けました。

関口春次郎名誉教授略歴

明治33(1900)年4月13日生れ
昭和53(1978)年1月22日没。(77歳)
溶接工学の開拓者
東北帝大工学部専門部機械科〔大正10年〕卒
東北帝大工学部金属工学科〔昭和5年〕卒
工学博士〔昭和15年〕

関口名誉教授の研究による炭酸ガス酸素アーク溶接法は船舶などの連続溶接を可能にしました。

東北大学、名古屋大学での教育・研究の後、1964年から1978年まで大同工業大学工学部機械工学科教授として溶接工学をご担当になりました。



AVラウンジの利用再開について

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として利用を中止していたAVラウンジを、密集・密接に十分配慮しつつ再開します。

ヘッドホン・イヤホンは利用者自身がご持参下さい。入室制限人数は最大8名です。

利用申込時に健康状態自己申告票を提出していただき、検温を行います。利用時には必ずマスクを着用しDVDなどを鑑賞して下さい。

利用開始日：2022年1月17日(月)
利用時間：8:45から18:50まで

貸出用ノートPCとプロジェクターの貸出

館内貸出用ノートパソコンと、小型プロジェクターを用意しています。ご希望の方は、サービスカウンターに申し出て下さい。卒業研究や、授業での発表のプレゼンテーションの練習にご活用下さい。

閲覧席の電源コンセント

利用者の皆さんから、パソコンやスマートフォンを利用しながら学習や調べものをしてほしいという要望が増えてきたことから、各階数か所の閲覧席に電源コンセントを設置しています。ご活用下さい。



図書館システムへのアクセス

図書館の所蔵資料の検索は、図書館のホームページにアクセスすることで、自宅のPCやスマートフォンからでも利用できます。

マイライブラリ

利用者IDとパスワードを入力して「マイライブラリ」にログインすると、更に便利な機能が利用できます。

- ・図書館に必要な本が無い場合は、購入のリクエストができます。
- ・自分が今借りている本のリストや、過去に借りた本の履歴を見ることができます。
- ・今借りている本の返却期限日を延長することができます。
- ・貸出中圖書の予約ができます。

来館しなくても使える機能です。
是非使いこなして下さい。



丸善電子ブック

図書館ホームページの「Maruzen e-book Library」では、図書館で購読契約している電子ブックが利用できます。

購読契約をしていない電子ブックも検索できます。

購読契約をしていない電子ブックには、「リクエスト」ボタンが表示され、購入をリクエストすることが可能です。

購入を希望される場合はクリックして

- ①申込者氏名
 - ②所属・キャンパス
 - ③学部・学科
 - ④メールアドレス
 - ⑤学籍番号・教職員番号
 - ⑥希望理由
- を入力して送信して下さい。

通常の図書と同様に、図書館の購入・選定の対象とさせていただきます。



新聞記事データベース

「日経テレコン 21」と「中日新聞・東京新聞記事データベース」を、図書館のホームページから利用できます。ご利用は、学内のネットワークからのアクセスに限定されます。就職活動にも有効なツールですので、積極的にご利用下さい。

日経テレコン 21

『日本経済新聞』『日経産業新聞』『日経MJ（流通新聞）』等の記事データ。当日の記事も検索可能。

接続数の制限はありません。

中日新聞・東京新聞記事データベース

『中日新聞』、『東京新聞』の記事データ。原則1～2日前の紙面からの記事検索が可能。

同時接続制限は1件。

学術情報リポジトリ

2013年度以降の博士論文や、紀要に掲載した論文を「大同大学学術情報リポジトリ」に掲載しています。

URL : <https://daido.repo.nii.ac.jp/>

インターネットから、論文の本文を直接ご覧頂けます。

図書館ホームページへのアクセス

PC・スマートフォン「大同大学図書館」で検索または次のアドレスからご利用下さい。

URL : <https://www.daido-it.ac.jp/~library/home/>

